特1
2008

ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟
植物學ニ關スル穿鑿

国立国会図書館　　請求記号　特1-2008
タイトル『ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟植物學ニ關スル穿鑿』

ガラス使用

特1
2008

植物學附録

国立国会図書館　　請求記号 特1-2008
タイトル『ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟植物學ニ關スル穿鑿』

ガラス使用

植物學附録

ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟植物學ニ關スル穿鑿

第一　小亜細亜、アルメニア及ビ百児社

第二　亜弗利加西岸

第三　亜弗利加東岸并ニ紅海、亜羅比亜、馬達加斯加甫

第四　印度、暹羅及ビ印度群島

第五　支那、安南、及ビヒリツピ子ス

第六　墨西哥、西印度、中部亜墨利加、及ビ南亜墨

東京地學協會
吉井氏藏書

国立国会図書館　請求記号 特1-2008
タイトル『ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟植物學ニ關スル穿鑿』
ガラス使用

特1-2008

小亜細亜、アルメニア、及ヒ百児社
ゴム、トラガカンス（*Astragalus Tragacantha L.*）此ノ護
謨ハ小亜細亜ニ於テ各種ノアストラガラス樹
（*Astragalus.*）ヨリ産出スル者ニメ猶ホ之レヲ考
證スルヲ要ス遊歴人及ヒ其他好機會ヲ得ル
所ノ人ハ凡ソ該護謨ヲ生産スルト認ムル樹類
ノ見本并ニ護謨ノ見本ヲ保存シ同時ニ其護謨
ハ樹幹ニ施シタル切リ目ヨリ獲ラルヽヤ或ハ
自然ニ流出スルヤヲ注目スベシ美濃ナルゴム、
トラガカンス」ハ小亜細亜ノカイツサル、及ビヤ

国立国会図書館　請求記号 特1-2008
タイトル『ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟植物學ニ關スル穿鑿』
ガラス使用

ラヴハツヲ産ス同處ニテハ之レヲ生産スル灌木ノ樹幹ニ長キ切リ目ヲ施スノ術ヲ採用スル又イスパルタ、ボール」ダ、アンゴラ等ニ於テモ亦此ノ護謨ヲ收集ス「ゴムトラガカンス」「ホツグ、ゴム」「バスソラ、ゴム」及ビゴス、トラガカンス」ハ屢バ「フヨール」ム、キユーテラト」稱スル他ノ護謨ヲ以テ侵雜セラル此ノ護謨ハスミルナニ於テ「カラマン、ゴム」ト稱スルモノ如シ其根元如何ヲ知ラズ之レヲ水中ニ置ケバ其性分ノ一部ハ暗塊ト為リテ膨脹シ溶解スル「ナシ

ストラックス(Storax.) 近時貿易ニ於テ聊出サレタル「ストラックス」ニハ一モ「スチラックス、アイシナール」樹脂樹果科ヨリ製シタルモノ無シ然レドモ此ノ樹ハ須適ノ光景ニ固テハ嘗テ大ニ珍重サレタル甚タ芳ナル樹脂ヲ産出スル「心セリ其見本ハ此ノ樹脂ノ真正ナル者即チ根元真正ノ「ストラックス」ヲ得ンコト甚タ企望ス此ノ品ハ往時小亜細亜ノ南部ニ於テ産出セリ其處ニハ今猶ホ誤樹ノ夥多ナルヲ睹出スト云フ

馬蘭薤(Salep.) 小亜細亜及ビ百兒社ニ於テ

国立国会図書館　請求記号 特1-2008
タイトル『ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟植物學ニ關スル穿鑿』
ガラス使用

馬蘭蘊ヲ産出スル各種ノ植物殊ニ最良ノ種類ヲ産出スルモノヽ見本ヲ得ベシ

ラルチ、アガリツク」(Larch Agaria (Polyporus officinalis) Ins.) 此ノ菌ハ目今魯西亜ノ北部ヨリ輸入ス者ニメ該地ニテハ「ラリツキス、シビリカ樹落葉松ト同屬ノ幹上ニ生長ス中古ハ小亜細亜ヨリ此ノ品ヲ輸出セリ而メ巴里ノ博覽會ニハ該地方即チアダリア」湾ヨリ此ノ見本ヲ出品セリ此ノ亜細亞産アカリツク」ヲ得ル所ノ樹ハ如何ナルモノナルヤヲ知ラス

阿魏(Arsafoetida.) 貿易品ナル尋常ノ阿魏ハ「ナルセツキス、アスサホイチダ」樹ヨリ産スル「疑ヒヲ容レズト雖モ此ノ藥品ハ其他ノ樹類ヨリ産スル者亦若干種有リト沒定スベキ理有リ一千八百五十一年ノ大博覽會ニ印度ヨリ出品シタル此レ等ノ一種ハ褐色透明ナル護謨状樹脂ニメ之レヲ産出セシ樹幹ノ小片ヲ含有シ著シク尋常ノ阿魏ト相違セリ

サガピイニユム(Sagapenum.) 此レハ阿魏ニ類スル護謨状樹脂ナリト雖モ之レヲ大氣ニ

暴露シテ淡紅色ヲ出現スルヿ無ク又阿魏ノ如キ強キ葫臭ヲ有スルヿ無シ其偶然ニ孟買港ヨリ船載シ来タルガ故ニ窃ニ以テ百児社ノ産トス此ノ物ハ積年薬劑ニ使用シタリト雖モ其植物ノ根元未ダ詳カナラス然レモ其類似ヨリ自然分科繖形科ノ或ル大イナル植物ヨリ産ズルト推考シテ可ナリ阿魏及ヒ「ガルバニユム」ニ比較スレバ「サガピイニユム」ハ希有ニメ高價ノ薬品トス

ガルバニユム (Galbanum.)

前條「サガピイニユム」ハ「ガルバニユム」ニ於テ為シタル所ノ解説ハ「ガルバニユム」ノ名ヲ以テ知ラレタル護謨状樹脂ニモ亦大イニ適合ス然レモ「ガルバニユム」ハ「サガピイニユム」ヨリハ極メテ澤山ナルモノトス此ノ商品ニ二種有リテ其差異ノ特別ナルヨリ産出スル者ナルヲ決定セシムルニ至ルガ「ガルバニユム」ハアストラカン道ヲ経テ多量ニ魯國ヘ輸入スト云フ然レモ英國ニ来ルモノハ重モニ孟買ヨリス

オポバナックス (Opoponax.)

他ノ臭氣アル護

東京地學協會

国立国会図書館　請求記号 特1-2008
タイトル『ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟植物學ニ關スル穿鑿』
ガラス使用

謨狄樹脂「オポパナツクス」ハ最モ多クノ記者ニ
擾レバ歐洲ノ南部及ビ小亜細亜ニ自生スル大
イナル纖形科ノ植物ナル「オポパナツクス、キロ
ニユム」ノ産物トス此ノ藥品ノ採集ニ付キ近世
ノ解說無ク又其生産ノ地ヲ確定セス

亜弗利加ノ西岸

コバル(Copal.) シユルラ、レヲ子、コパル」ハ土人
ノ「コボ」ト稱スル「ギユイボールチア、コパルリフ
エラ」樹ヨリ生産ス此ノ未詳ナル樹ノ見本ト其
成熟シタル殻實トヲ合セテ之レヲ得ンコヲ要
ス此ノ樹ハゴデリック」及ビシエルラ、レヲ子」ニ
接近スル其他ノ地方ニ生育ス

パラダイス粒(Grains of Paradise.) 此ノ藥
品ヲ生産スル所ノ植物ナル「アモミユム、メレギ
ユエタ樹ハ現今人ノ能ク知ル所ナリト雖モ殆
ド之レニ類シタル珍ラシキ種類ニメ植物家ノ
未ダ充分ニ之レヲ知ラザル者アリ故ニ亜弗利
加西岸ハ各部ヨリ這様ナル植物ノ見本ヲ得ンコ
ヲ企望ス此レ苓ノ見本ハ葉及ビ花實併ハセテ之レ
ヲ聚集セザルベカラス此ノ花ハ極メテ軟弱ナ

国立国会図書館　請求記号 特1-2008
タイトル『ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟植物學ニ關スル穿鑿』
ガラス使用

ルガ故ニ之レヲ酒精中ニ浸シ保存スルヲ緊要トス此ノ果實ノ或ル見本モ亦同様ノ方法ニテ保存スルヲ要ス該種類ノ樹ハ屢バ相雜生シテ其着花結實ノトキ時節ヲ異ニスルカ故ニ混乱ヲ避クルガ為メニ格段ナル注意ヲ要ス

亜弗利加姜黄(African Turmeric.)カンナスベシヲサ」ノ根莖ナリト云ヘリ然レ𪜈更ニ之レヲ考究センヿヲ企望スシエルラ、レヲネ」ニ於テ生根ヲ得テ培養ノ為メニ之レヲ英國ニ運送スルヿ容易ナリトス

亜弗利加マムミー」(African mamme.)シユルラ、レヲ子及ビプリンス、アイランドノ産ナリ該樹及ヒ其果實(酒精中ニ浸ス)ノ見本ヲ得ルヿヲ企望ス果實ノ大サハ橙實ニ均シビットル、コラ、ヲフ、フイルナントーポト(Bitter Kola of Fernando Pv.)

亜弗利加西部ニ至規線内ノ土人ノ大イニ使用シタル通常ノ「ビツトル、コラ」ハ「コラアキユミナタ」ト稱スル大ニ擺開(ヒロガル)セル樹木ノ生産物ナルヿヲ知ル然レ𪜈「ビイトル、コラ、ヲフ、フイルナンドーポー」ノ根元ハ猶ホ未ダ

東京地學協會

国立国会図書館　請求記号 特1-2008
タイトル『ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟植物學ニ關スル穿鑿』
ガラス使用

詳ナラス此ノ物ハ「ギユツチフエル」ノ種子ナル
ヿ疑ヲ容レス故ニ如何ニモ正シク對生シタル
葉ヲ有スルノ樹ニ於テ尋求セザルベカラス該
種子ハ蓋シ肉果中ニ在ルモノトス
バルサム、ヲフ、セント、トマス」(Balsam of St.
Thomas.) 此レハ幾内亜ノ海湾セント、トーマス
島生育スル樹ノ名ナリ花實ノ見本又此ノ樹若
シ脂ヲ生ズルナラバ其見本ト之レヲ採取スル
方法ノ報告トヲ併ハセテ領受セン「ヲ欲ス此
ノ樹ハ蓋シ「ソリンテイア」種類トス

ビツトル、ウード」(Bistor wood.) キユアスシア」
ノ種類ニメガブーン、カマルーン両河邊ニ生ズ此ノ
木材ノ見本ハ二至規線内亜墨利加
ノ代用ニ適スルヤ否ヤヲ知ランガ為メニ之レ
ヲ要求ス
クポクポカ」(Hopkpaka.) 西部二至規線内亜
弗利加ノ「カポカポカ樹ハ其纖緯ヨリ「ド、布ヲ
織出スル者ニメ未ダ如何ナル樹ナルヲ知ラス
花ヲ有スル見本ヲ得ン「ヲ要ス」以上ノ護謨及
ビ其收集ノ方法ト共ニ凡ソ「インデア、ラブベル

東京地學協會

国立国会図書館　請求記号 特1-2008
タイトル『ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟植物學ニ關スル穿鑿』
ガラス使用

即チ「ギユタペルカナル」弾力護謨ヲ生出スル上部幾内亜ノ灌木或ハ喬木ノ花實ノ見本ハ特ニ之レヲ得シコトヲ企望スルモノトス

亜弗利加ノ東岸并ニ紅海、阿剌比亜、馬達加斯加甬

沒藥（Myrrh.）

此ノ有名ナル藥品ハ紅海ノ南端ニ近キ亜弗利加ノ海濱ニ於テ「ソマリ」種属ノ樹ヨリ多量ニ採集シ其處ヨリ孟買ニ舶送ノ為メ之レヲ亜丁ニ携来スル又異種ノ沒藥有リ孟買シ他ノ種類ノ樹ヨリ生ズル所ニメ（ウヲガン氏ノ説ニ従ヘハ亦亜丁ノ東四十英里ニ在ル地方ニ産出シ販賣ノ為メ之レヲ亜丁ニ携来スル更ニ異種ノ者有リ阿剌比亜人ハ「ハビスサホール」ト稱シテ之レヲ區別スル亦「ソマリ」種属ノ樹採集スル者ニメ亜丁ヲ経テ印度ニ運送スル是等ノ各種ノ沒藥ヲ生出スル所ノ植物ヲ精密ニ決定スルハ大裨益ノ一點タリ而メ此ノ目途ニ於テ凡ソ其物ヲ捜査スベキ機會ヲ有スル人ハ之ニ從事スルニ怠ラザルンコトヲ熱望ス

東京地學協會

国立国会図書館　請求記号 特1-2008
タイトル『ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟植物學ニ關スル穿鑿』
ガラス使用

ヲリバニユム（*Olibanum.*）
見ル所ノヲリバニユムハ一部分ハケープ、カルダフユイニ近キ亜弗利加海岸一分部ハ阿剌比亜ノ南岸ニ産シ該両處ヨリ之レヲ孟買ニ船送スル此ノ藥品ヲ生出スル「ボスウエルリア樹ノ各種ニ乾テハ猶ホ稍ゝ紅フベキ者有リ而メ花及ビ成熟ノ果實ヲ併ハセタル見本ノ添加ヲ企望スコラリマ、カルダモム」（*Morea Cardamom.*）故博士ヘレイラ氏ハ此ノ名稱ノ下ニ小サキ無花果ト形狀及ゝ大イサヲ同ウスルアビスシニアカルダモム」ヲ注記セリ是レハ紅海南端ノ一港ナルマスソーワヨリ輸出スル者ナリ此ノ品ノ藥用トメ知ラレタル・コ已ニ久シ阿剌比亜人及ビアビシニア人ハ其一端ノ細小ナル處ニ孔ヲ穿チ絲ヲ貫キ其念珠トメ常ニ之ヲ用フ此ノ品ハ大凡北緯九度東經三十五度ニ位スル國ナルタンペヨリ南アビシニア中バソーノ市場ニ運送スト云フ又アモミユム、コラリマト稱スル植物ハ全ク知ラレザルモノトスドラゴンス、ブルード（*Dragon's Blood.*）ソコト

東京地學協會

国立国会図書館　請求記号 特1-2008
タイトル『ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟植物學ニ關スル穿鑿』
ガラス使用

ラ島ニ産ス如何ナル植物ヨリ生スルヤ未ダ知ルベカラス

カザ、イデユリス(Catha edalis.) 阿剌比亜語ニテ「カート」ト稱ス化学的試驗ノ為メ此ノ灌木ノ乾葉ノ夥多ナル供給(一百「ポント」)ヲ得ザルベカラズ此植物ハ南阿剌比亜及ヒアビシニアニ生ズカマラ(Hamala.) カマラ」ノ特別ナル種類ハ亜丁ヨリ輸入セリ是レハ「ロツトレラ、チンクトリナ」ヨリ生ゼザルヿ明白ナリトス該品ヲ生育ノ地及ヒ之ヲ生出スル植物ニ付キ總テ知ラレタルモノ無シ

カウスソー」(Hawsso.) 此ノ樹(Brayara ant-hel. mintica Hanth.)ノ新鮮ナル種子ハ培養ノ為メ之ヲ要セザルベカラス

阿剌比亜護謨(Gum Arabic-Acacia Verek G. et P.) セネガムビア」ヨリアビシニイア」マテ中部亜弗利加ノ北部ヲ擧ゲ生育スル「アカシア、ウエレク」樹ハ阿剌比亜護謨ノ最良ノ種類ヲ生出スト云フ該樹幹ノ零碎ニテ流出ノ護謨ヲ有シタルモノヲ西部及ビ東部亜弗利加ヨリ致サンヿヲ要

東京地學協會

国立国会図書館　請求記号 特1-2008
タイトル『ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟植物學ニ關スル穿鑿』
ガラス使用

求ス是レ甲地方ニテ收穫シタル護謨ト乙地方ノ同植物ニ因テ收穫シタルモノト同異ヲ確定スル為メナリ

カラムバ、ルート (Calamba root.) 此ノ藥品ハ全ク「ジヤテヲルヒザ、コラムバ」ニ因テ供給サルヽカ將タ一部分ハジヤテヲルヒザ、ミイエルス」ニ因テ供給サルヽカ未タ之レヲ知ル可カラズ二種共ニモザムビイキユニ生ズル植物ナリ

(然レ𪜈「ジヤテヲルヒザ、ミイエルス」ハ馬達加斯加爾ニモ亦之レ有リ) 該藥品ヲ採集スル地方ヲ探尋スル遊歷人ハ該植物ノ良キ見本并ニ生根ヲ得ザルヘカラズ此ノ根ハ肉質ニメ土ヲ附スル「無クメ容易タ之ヲ運送スル得

馬達加斯加爾タンニン (Tanghin of Madagascar.)

有毒乳狀ノ液汁ニ就テ見本ヲ要求シ之レヲ分ツテ一部分ハ柔カナル熱度ヲ以テ其幾分ヲ乾燥シ他ノ一部分ハ酒精ト混和メ液體ニテ運送セザルベカラズ

カヲートコーク」即チ「インデア、ラブボル」(Caoutchouc.)

(Ordeal-rabubor.)

馬達加斯加爾并ニモサ

東京地學協會

国立国会図書館　請求記号 特1-2008
タイトル『ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟植物學ニ關スル穿鑿』
ガラス使用

ムビキユニ於テ此ノ物ヲ生出スル各種ノ樹了リト言ヘリ良キ見本及ビ確定ノ報告ヲ輯集セザルベカラス

印度、暹羅及ヒ印度群島

カテシヨ(Cate chu.)カ」及ビ「ガムヒル」ノ諸種ヲ得ル所ノ經歷ニ注目スベシ而メ其他「アカシヤ、カテシヨ」「アレカ、カテシヨ」及ビ「アンカリア、ガムビル」ハ樹ヨリ生ズルヤ他ノ者ヨリ生スルヤ注意スベシ吾輩其諸樹ヲ夫々ノ搾汁配當センコヲ要ス殊ニ「ペグユ、カツチ」ノ根元ハ如何ナルモノナルヤ宜ク之ヲ考究スベシ

安息香即チ「コム、ベンジヤミン」(Benjoin, or Gum Benjamin.)

暹羅ニ於テ此ノ藥品ヲ生ズル所ノ樹ノ善良ナル見本ヲ得ベシ是レ蘇門答臘ノ安息香ヲ生ズル所ノ「ステラックス、ベンザイニ」撒ト比較スル為ニメ調法ノ事トス

樟腦(Camphor.)

ブルメア、クラインヂス」樹ノ樟腦品ノ性質ヲ試驗スル為メニ若干磅(ポンド)ヲ要求ス(印度藥劇書百二十八頁ヲ見ヨ此品)

東京地學協會

国立国会図書館　請求記号 特1-2008
タイトル『ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟植物學ニ關スル穿鑿』
ガラス使用

ルベシ

黄蓮根（*Mushmi Rhizome.*）往昔ヨリ藥劑トシテ知ラレタル「コプチス、チタ」ノ細小ナル黄色ノ根莖ハアスサムノ東部ニシテ山中ニ生ズ而メ支那領疆域ノ北邊ニ於テモ往々之レヲ生ズル處有リ此ノ藥品トナル植物ハ極メテ未ダ詳カニ知ラレザル者ニメ充分ナル見本ヲ要求ス又或ル第二ノ種類有ツテ詼藥品ノ一部ヲ備辨シ得ルモノトス

所子（*Aconite Root.*）

此ノ品ハ印度ヨリ極メテ夥ク輸入ス其如何ナル地方ニ於テ之レヲ採集スルヤ又「アロニチュム」ノ如何ナル種類ヨリ生出スルヤ宜ク之レヲ考究スベシ

香料皮（*Aconite Bark.*）自然分科即チ「ラーリネエイ」科（*Laurineæ*）ノ樹ヨリ生出シタル「カリトラワング」「マソイ」及ビ「シントタ」ノ名ヲ以テ知ラレタル香料皮ハ印度群島ニ於テ著シキ貿易品タリ遊歴人若シ機會ヲ得ハ其採集シタル皮ヲ一見シ而メ詼皮及ヒ之レヲ生出スル樹ノ真正ノ見本ヲ得ルニ汲々タルベシ「マソイ、バ

東京地學協會

国立国会図書館　請求記号 特1-2008
タイトル『ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟植物學ニ關スル穿鑿』
ガラス使用

「ク」ハ新歪阿那ノ西岸ニ産ス

馬蘭蕪（サレツプ）（Salep.）印度ニ於テ「ヲルキス」蘭科及ビ「ユーロヒア」蘭科ノ各種ノ根莖ヲ採集シ「サレツプ」ノ名ヲ下ダメ之ヲ販賣ス蘭科ノ如何ナル種類ヨリ此ノ物ヲ生出スルヤヲ決定スル「ヲ要ス是レハ殊ニ雪山（ヒマラヤ）及ヒカシユミールニ於テス又「バツドサー、サレツプ」即チ「ロヤール、サレツプ」ト稱スル藥品ヲ生出スル所ノ植物ハ如何ナルモノナルヤ此ノ植物ハ何レノ處ニ生メ何ノ用ニ貴重サルヽヤ宜ク之ヲ考究スベシ此ノ品ハ孟買、ヨリ英國ニ輸出セリ

滿那（Manna.）滿那ノ一種ハ東洋ニ於テ檉柳ノ種類ヨリ生出スルモノト決定サレタル「茲ニ年アリ凡ソ東洋ノ檉柳ハ滿那性ノ糖質物ヲ生出シ之ヲ採集スルヤ又何レノ處ニ於テスルヤヲ決定スルヲ要ス

大麻（Hemp.）極メテ粗ト雖モ粘着性アル麻ハ北部印度中カングラ及ビ其他ノ地ニ産ス而メ之ヲ名ツケテ「カングラ麻或ハ喜拉羅麻ト言フ是レハ「カナビス、サチバ」ヨリ生出スルモノナル

東京地學協會

国立国会図書館　請求記号 特1-2008
タイトル『ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟植物學ニ關スル穿鑿』
ガラス使用

ヤ夫レニ就キ稍〻疑點ヲ有スル者トス

タンニーン（Tanyn.）緬甸國貿易録ノ「タンニーン」果ハ何ヨリ生出シ如何ナル用ニ充ツルヤ宜ク之ヲ考究スベシ

モカラス（Mocaras.）此茶褐色收斂性ノ物ハ印度ノ街市ニ於テ見ル所ノモノニシテ一部ハ「サルマリア、マラバリカ」ヨリ生出スト言ヒ一部ハ「アレカ、パルム」（アレカ、カテシヨ）ノ樹幹ヨリ瀝出スル者ナリト言フ是レハ何カ收斂物ヲ瀝出スル者ナルカ又ハ或人ノ傳フル如ク「アレカ、カテシヨ」樹上ニ何カ瘤狀ヲ結成スルモノカ宜ク之ヲ決定スベシ此ノ根元即チ「モラカス」ノ根元ハ決定セザルベカラザルモノトス

ラジアケンス」（Rajah-canes.）該品ハ婆羅洲ヨリ輸出ス之レヲ生出スル「パルム」ノ種類未ダ知ルベカラス又如何ナル樹ハ「アムボイナ」即チ「ケーボクカ、ウート」ト稱スルモノヲ生出スルヤ宜ク之レヲ考究スベシ

ギツタベルカ」（Gutta-purchas.）此品ハ今日ニ至リテモ僅カニ知ラレタルモノニメ「アイソナ

東京地學協會

国立国会図書館　請求記号 特1-2008
タイトル『ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟植物學ニ關スル穿鑿』
ガラス使用

ドラ「クリソフイルヽム新洲蔚科「シデロキシロン」及ビ其他ノ種類ノ如キ諸種ノ植物ヨリ生出スト言ヘリ又「ギツタペルカ」「ウギアトーピユチー」「コチアン」「チユハン」或ハ「タバン」等ノ如キ方言ニ注意セザルベカラズ右各植物ノ葉花及ヒ果實ヲ能ク注意メ酒精ニ浸シ或ハ乾燥シテ保存セル夥多ノ見本其乾燥ノ見本ヲ取リタル所ノ植物各個ノ生産物ハ大ヒニ要求スル所ノモノトス

コーチヨーク一名インヂア、ラブベル」(Caoutchouc, an India-rubber.)

麻剌甲群島ニコーチヨークヲ生出スル夥多ノ樹有リ「ユルセテス、エラスチカ」ナルモノハ婆羅洲(ボルネヲ)インヂアブヘル」ノ根元トス新嘉坡ラベル」及ビ瓜哇蘇門荅臘暹羅ノ種類ト稱スルモノハ如何ナル樹ヨリ生出スルヤ是等ハ「ヒキユス」無花果科ノ種類ナルヤ宜ク之レヲ考究スベシアサムニ於テ「インヂアラブベル」ヲ生スルハ「ヒキユス、エラチカ」止マラザルカ如シト雖モ此ノ樹ヲ以テ其重ナルモノトシ「ヒキユス、ラクシフエラ」モ亦同物ヲ生出スベキモノトス右ノ「ヒキユラ、ラクシフエラ」ヨリ或ル「インヂアラブ

東京地學協會

国立国会図書館　請求記号 特1-2008
タイトル『ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟植物學ニ關スル穿鑿』
ガラス使用

「ヘル」ヲ採集スルヤ又「ヒキユス、エラスチカ」ヨリ採集シタル「インヂヤラブベル」トハ別種ニナシ置クヤ或ハ之ヲ混合スルヤ宜ク之レヲ考究スベシ良キ腊葉ノ見本ヲ併ハセタル各種ノ見本ヲ以テ貴重スベキモノトス其他多ク「インヂアラブベル」ヲ多量ニ生出スベキ樹ナキヤ宜ク之レヲ考究スベシロキスボルク氏ノ説ニチツタゴン及ビシルヘツトノ「ル」チアム」即チ「ウイルベイア、エヂユリス」樹(交竹桃科)ハ良好ノ「インヂアラブベル」ヲ生出スト言ヘリ該「インヂアラブベル」ノ見本幷ニ該樹ノ葉、花及ビ果實ノ注意シテ備ヘタル澤山ノ見本ハ乾燥シタルモノ酒精ニ浸シタルモノ共ニ之レヲ得ンコヲ大ヒニ企望スル所ノモノトス

支那安南及ビヒリツピン諸島

大黄(Rhubarb.)　支那ノ西方諸省及ビ其近邊ノ地ニ産出スル大黄ノ真正ナル根元猶ホ未ダ確定セズ此植物ノ生根及ビ種子幷ニ此ノ能ク知ラレタル藥品ヲ採集シテ之ヲ乾燥スルコノ克分ナル解説ヲ得ンコヲ要ス

東京地學協會

国立国会図書館　請求記号 特1-2008
タイトル『ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟植物學ニ關スル穿鑿』
ガラス使用

樟腦(Camphor.)貿易品トスル者ハ臺湾及ビ日本ヨリ之ヲ得支那ニ産出スルヤ又何レノ處ニ産出スルヤ樟樹ノ支那中部諸州ニ繁茂スルヿハ能ク覚知サレタリ「子イ」(Ngai.)ト稱スル「アルテミシア」(ウヲルムウード)ハ種類ヨリ得ルト稱スル樟腦ハ如何ナルモノナルヤ其數磅ヲ得ンヿヲ要ス

馬兜鈴根(China Root.)此ノ品ハ廣東港ヨリ歐洲ヘ輸出ス此ノ植物ハ河南廣東及ヒ廣西ノ諸省ニ生育スト言ヘリ其好キ見本ヲ得ンヿヲ要ス「グリン、パツチ」ト稱スル根ハ多量ニ寧波ヨリ輸出ス此ノ植物ハ馬兜鈴ノ一属(ゼニユス)トス其種名ヲ決定スル為メニ根ト共ニ此ノ腊葉ヲ得ンヿヲ要ス

カシア皮(Cassia. Bark.)支那南部ニ於テ此ノ皮ヲ生出スル樹ノ見本ハ大ニ要求スル所ノ者トス植物学ノ見本ニハ總様同種ヨリ得タル弱皮老皮ノ好キ見本ヲ包括セザルベカラズ

カシア芽(Cassia buds.)此ノ品ハ皮ヲ生出スト想像サレタル樟属ノ未熟ノ果實トス

東京地學協會

国立国会図書館　請求記号 特1-2008
タイトル『ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟植物學ニ關スル穿鑿』
ガラス使用

竹(Bamboo.) 支那人カ茶箱ノ裏張リノ為メ一集ニ縫合ハセル所ノ廣濶ナル葉ヲ生スル竹ノ花ヲ有スル見本ハ其種ヲ決定スル為メ之ヲ得ンヿヲ要求スル者トス

莽草(Star Anis.) 支那南部ノ産物ナル此香料ニ關シ其報告ハ目撃セシ人ニ因テ蒐集セラレンヿヲ要ス此ノ品ハホキヱン一桅船ニテ廣東ノ市場ニ輸入スト言ヘリ其樹ノ植物学ノ見本ヲ得及ビ其實ノ採集ニ關シタル總テ特異ノ件々ヲ知ランヿ要ス

支那製薄荷油(Chinese oil of Peppermint.) 此ノ品ハ廣東ニ於テ蒸溜スト言フ之レニ使用スト見請タル植物ノ搾壓及ビ乾燥シタル植物学ノ見本ハ其名稱ヲ決定スル為メ英國ニ運輸セザルベカラザル者トス

カルダモム(Cardamoms.) 支那人ノ因テ「ヤン、チヤンシヤ」(Yang-chan-sha.) ト稱シ博藥者ノ毛狀支那(ヘヤリーチヤイナ)カルダモム」(Hairy-chinaceardamom.) ト稱スル該カルダモム」ノ根元ハ如何ナルモノナルヤ宜ク考究スベシ此レハ廣東ノ省ニ於テ

Loureiro.
綿砂薯
Sŏ xā mi
Sŭh-sha-meih.

東京地學協會

生出スト言フ而メ安南ノ土産ト謂テ可ナリ又大円状支那カルダモム」ノ名稱ヲ付與シ而メ支那人ノ「ツヲーコー」(Tsuon-kow.)ト稱シル薑科ニ属スル果實ノ根元全ク知ラレザルモノトス又苦子カルダモム」支那名「イチエゼズ」(Bitter-seeded Cardamom, Ph-che-tsye.)及ビ卵状支那カルダモム」支那名ツヲーコ」或ハ「クアーリヨ」(Ovoid Colina Cardamom, Tsaou-kowarqua-Lin.)モ之ニ同シ是等ハ蓋シ皆支那ノ南部及ビ安南ノ産物タリ

セント、イグナチユス、ヒーンス」(St. Ignatius Beans.)此品ハヒーリビイン諸島ニ於テコヤコイ」或ハ「ペーピタ、デ、カトバロガン」ト稱ス該植物ハ小林娜斯氏ガ「イクナチア、アマラ」ナル名稱ヲ附與セシ蔓性ノ灌木ナリト言ヘリ蓋シ「ストリクノス」ノ一種ニメ方今ノ植物家ニ知ラレザル者トス此ノ植物ハヒーリピイン」諸島中バイサヤ群島ノボーホル、セブ両島ニ生育スルモノト信ス此ノ植物ハ大イニ珍重スベキモノ、一ナルガ故ニ花ヲ有スル夥多ノ見本并ニ完全ナル果實ノ乾燥シタ

東京地學協會

ル者酒精ニ浸シタル者両様共及ビ表皮ヲ有シ
タル幹ノ小切レ若干個ヲ得ルノ機會有ラバ決
メテ之ヲ失フベカラス
エリミー」(Elemi.) 此ノ樹脂ハヒーリピインス
諸林中夥多ニ之ヲ産出ス其處ニテ此ノ樹脂ハ
焚火ニ愉快ナル火鉄ヲ附與スルヲ以テ遊歴人
ハ屢バ其助ケヲ借ルヿ有リ又之ヲ藥品トシテ
マニルラ」ヨリ輸出ス其之ヲ生出スル樹ハ多分
カナリユム」ナルベケレ共精密ニ其種類ヲ決定
スル為メニ花及ビ酒精ニ浸シタル成熟ノ果實
ヲ包括セル完全ノ見本ヲ得ンコヲ要求ス

墨西哥西印度中部及ビ南部亜墨利加

墨西哥エレミ」(Mexicanus Elemi.) 墨西哥ニ
テ「コパル」ト稱シ知ラレタル墨西哥エレミ」ハヲ
ハキサカノ近邊ニ生育スル「エラフイリユム、エ
レミフエリユム」樹ヨリ生出ス其良好ノ植物学
見本ハ大ニ要求スル所ノ者トス

サルサパリルラ(Sarsaparilla.) 土茯苓ノ
種類ニシテ其根ハ貿易ニ見エタル「サルサパリ
ルラ」ノ諸種ヲ製造スル所ノ者ハ甚タ充分ニ知

東京地學協會

国立国会図書館　請求記号 特1-2008
タイトル『ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟植物學ニ關スル穿鑿』
ガラス使用

ラレザルモノトス花、果実及ヒ葉ヲ包括シ而メ幹及ビ根ヲ添ヘタル良好ノ植物学見本ハ注意シテ之ヲ保存シ而メ之ヲ決定スル為メ英國ニ輸送セザルベカラズ」「ジャマイカ、サルサパリル」ト稱スルモノハコスタ、リカ州中チリキ湖ノ近傍ニ生育スル而メ若シ之レト同一ナラザレバ則チ極メテ之ニ類似シタル種類ハニユーグラナダ國リヲ、マグダレナノバチヨルキユ」ニ生育シ又「サルサパリルラ」ノ他ノ種類ハ墨西哥グアテマラヲンヂユラス巴西等ニ産ス

イキユアドル」ノ桂皮(Cinnamon of Ecuador.)

錫蘭産ノ桂皮ニ似タル所ノ此ノ皮ハカネロス州ニ生育スル貴重ナル樹ヨリ生出ス酒精ニ浸シ保存セル花及ビ大ヒナル果實ヲ包括シタル其見本ハ大ニ要求スル所ノ者トス此ノ果實ノ夢ハ「イシユピンゴ」ノ名稱ヲ下ダシ香料トシテ之ヲ用フ

バルサム、ヲフ、コパイヴア」(Balsam of Copaiva.)

此ノ品ハ巴西ノ諸部ヨリ輸入シ其性質ニ於テ稍ニ差異有リ而メ「コパイフエラ」屬ノ各種ノ産

東京地學協會

国立国会図書館　請求記号 特1-2008
タイトル『ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟植物學ニ關スル穿鑿』
ガラス使用

トス之ヲ生出スル樹ノ花及ビ葉若シ成ルベク
ハ果實ノ見本及ヒ該樹ノ生育スル所ノ地名ト
其方言ト併ハセテ各種ノ「バルサム」ヲ得ルヲ要
ス

木材リグニユム、ネフリチカム」(Lignum nephriticum.) 最モ早ク亜墨利加ヲ
訪査セシ或ル者ニ因テ注目サレタル此ノ布有
ナル木材ハ黒西哥ノ産物タリ其如何ナル樹ナ
ルヤ未ダ之ヲ知ルベカラズ其浸劑ハ「キニイ子」
ノ溶液中ニ現出スル藍色ヲ有スル為メ著シキ

者トス

西印度ノサテン木(Satin-wood of the West Indies.) 此ノ木材ト共ニ花及ビ果實ノ見本
ヲ要ス西印度ノ「コカ」即チ「コキユス、ウート」ノ根元
モ亦未ダ確定セザルモノトス又西印度或ハ中
部亜墨利加ニテ貿易ニ供スル「ラニスウード」ノ或
ル生樹ノ花ヲ有スル見本ハ其種名ヲ決定スル
為メニ之ヲ要求ス

キングウード」「マラカイホウウード」及ビ「マスティバウ
ード」(King-wood, Maracaiba-wood, Mastic-wood.)

東京地學協會

国立国会図書館　請求記号 特1-2008
タイトル『ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟植物學ニ關スル穿鑿』
ガラス使用

(Logwood.) 巴西ヨリ輸入スル總テ是等ノモノ及ビ中部亜墨利加ヨリ輸入ノ「ナイカラキユア、ウード」ハ植物學ニ於テ未ダ其根元ノ知レザルモノトス

巴西ノローズウード」(Rosewood of Brazil.)

此ノ木材ノ各種ヲ生出スル樹ニ就テハ猶ホ稍々疑ヒ有リトス

イペイカキユアンハ」(Ipecacuanha.) ニユ、グラナダノ大「イペイカキユアンハ」根ヲ生出スル所ノ植物ハ如何ナルモノナルヤ宜ク之ヲ考究スベシ

パレイラ、ブラヴア」(Pareira Brava.) リヲデジヤ子イロヨリ歐州ニ輸出スル貿易品ナル「パレイラ、ブラヴア」ヲ成立スル所ノ鈍キ木質ノ幹ヲ生スル植物ハ未ダ確定セス其之ヲ生育スル地方モ又未ダ詳カナラズ此ノ件宜ク考究スベキ者トス

機那皮(Cinchona Barks.) 委内瑞辣中ピユエルト、カベロニ舶積ミスルシンコナ、チユキユゼンシス」皮有ル上ニ同港ヨリ来タル所ノ他

東京地學協會

国立国会図書館　請求記号 特1-2008
タイトル『ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟植物學ニ關スル穿鑿』
ガラス使用

ノ樹皮ニシテ未ダ植物学的ニ於テ充分知ラレザル者アリ此ノ皮ノ或ルモノハ「シンコナ、コルヂホリア」ノ各種ヨリ生出スルモノヽ如シ但シ其他ノモノハ「クインクイナ、ローズ、トヲカナ」(Mina Mimarkose d'oxana.)ト稱スルモノニ属スルガ如シカルステン氏ガ記載シタル種類ト比較ノ為メニ枝及ビ幹(皮ヲ有スルモノ)ノ切レト共ニ該樹ノ花及ビ果実ヲ有スル枝ノ直正ノ見本ヲ得ルヲ調法トス贋シンコナ」ト稱スルモノハ博士ウエツデル氏ノ説ニ據レハ其子房通常肥大ニシテ硬瓣ノ項上ヨリ基礎部ノ方ニ拆離スルヲ以テ之ヲ區別ス其花ハ割合ニハ大ニシテ香氣ヲ有セス塩基性ヲ含有スルト否トヲ確定スル為メニ「ブーエナ」属ナル右等ノ樹皮ノ真正ノ見本ヲ得ルヿヲ頗ル調法トス其皮ニハ花有ル見本ヲ添ヘザルベカラズ化学上試驗ノ為メ各皮ノ數磅ヲ要求ス

パラ、ラタニー」(Para Thatany.) 巴西ノパラヨリ輸入スル此根ハ藥劑日記第一巻八十四頁(一千八百七十年)ニ記載セリ之ヲ生出スル植物ヲ

東京地學協會

確定セザルベカラズ其目途ノ為メニ全根ヲ併セル良好ノ見本ヲ要求ス

バラノ「ミルク」即チ「カヲ樹(Milkcarbow tree or of Paras) マスサランデユバ」ト稱スル此樹ノ花及ビ果実ヲ有スル見本ハ其種類ノ精密ナル決定ノ為メニ要用トス

コーチヨーク」即チ「インヂアラブベル」(Cautchoe or Indias-Rubber.) 中部亜墨利加ノユーチヨーク」ハ總テユレユレ樹(Vile vile.)ト稱スル「カスチルロア、エラスチカ」ヨリ採收スル者ト仮定ス又此レト同属ノ異種ニメ「コーチヨーク」供給ノ根元ナル「カスチルロア、エラスチカ」ト誤認スベキ類似ノ樹有リヤ未ダ知ルベカラズニユ、クラナダニニ於テ「コーチヨク」ヲ生出スル翼状葉ノ樹有リト云フ如何ナル樹ニヤ

ヘヴエア、ブラジリエンシス樹(Hevea Siphonia Brazyliensis.) 此レハパラインヂアラブベル」ノ重ナル根元トス然レモ「ヘヴエア、リユテア」「ヘヴエア、ヂスカラ」「ヘヴエア、パアユシホリア」及ビ「ヘヴエア、リギヂホリア」ノ如キ他ノ種ノ樹モ

東京地學協會

国立国会図書館　請求記号 特1-2008
タイトル『ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟植物學ニ關スル穿鑿』
ガラス使用

特1
2008

亦「インデア、ラブベル」ヲ生出スル是等ノ各樹ノ
夫々ノ生産物ヲ知リ又其良好ノ見本ヲ得ルヲ
企望ノ最ナル者トスベルナムビユーコ及ビシア
ラニ於テ甚ダ良好ノ「インデア、ラブヘル有リ「ア
ンコルニア、スペシヲサ」即チ巴西人ノ所謂「マン
ガバ」ヨリ生出スル者ナリト言ヘリ真正ノ見本及
ヒ報告ヲ要求ス又英佛領亞阿那ニ「コーチョク」樹
有リ其良好ノ見本其各種ノ生産物ヲ併ハセテ
之レヲ蒐集スヘシ

国立国会図書館　請求記号 特1-2008
タイトル『ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟植物學ニ關スル穿鑿』
ガラス使用

国立国会図書館　　請求記号 特1-2008
タイトル『ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟植物學ニ關スル穿鑿』

ガラス使用

国立国会図書館　請求記号 特1-2008
タイトル『ハムブリー氏及ビヲリヴエル氏ノ製藥學及ビ經濟植物學ニ關スル穿鑿』

ガラス使用